

## 埼玉県の 助成制度

埼玉県には、肝炎の治療や  
検査の費用を助成する  
制度があります。



コバトン さいたまっち

- ▶▶ **肝炎初回精密検査費用助成制度** (申請窓口: 県内の各保健所)  
肝炎ウイルス検査で陽性と判定された人が初めて受ける精密検査(血液検査、画像検査)費用を助成します。
- ▶▶ **肝炎治療医療費助成制度** (申請窓口: 県内の各保健所)  
肝炎ウイルスによる慢性肝炎又は肝硬変の患者のうち、県が承認した方に対して受給者証を発行します。一定の自己負担額(月額1万~2万円)で治療が受けられます。
- ▶▶ **肝炎定期検査費用助成制度** (申請窓口: 県内の各保健所)  
肝炎ウイルスによる慢性肝炎・肝硬変・肝がんと診断された人やその治療を終えた人が、定期的に受ける検査(血液検査、画像検査)費用の一部を年2回まで助成しています(一定以上の課税のある場合は対象外)。

### 肝炎についてもっと調べたいときは……

- ◆「肝炎情報センター」  
<http://www.kanen.ncgm.go.jp/category/boshi.html>
- ◆「埼玉県の肝炎に対する取組」(埼玉県HP)  
<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0705/kanentaisaku/index.html>

肝炎についてのご相談は  
肝臓病相談センターへお電話してください

## 埼玉県肝臓病相談センター

月~金:9時~17時 土:9時~12時(祝日を除く)

TEL・FAX:049-276-2038

お母さんや赤ちゃんの  
健康については、お住まいの  
市町村保健センターで  
ご相談できます。

【パンフレットに関するお問合せ】

埼玉県保健医療部疾病対策課 総務・疾病対策担当

☎ 048-830-3598

# ママと赤ちゃんのための 肝炎のおはなし

妊婦健診の  
肝炎ウイルス検査で  
**陽性**となった方へ



埼玉県マスコット コバトン

お腹の赤ちゃんとお母さんの健康管理のために行われる妊婦健診  
肝炎ウイルス検査は、妊娠初期の検査の一つです  
**B型肝炎ウイルス(HBs抗原)・C型肝炎ウイルス(HCV抗体)**  
ふたつの検査を行いました

肝炎ウイルスは、**肝臓の病気を起こすウイルス**です  
でも、大丈夫  
このパンフレットで

**赤ちゃんへの感染予防** と **お母さんの健康管理**

についてご案内します

## 肝炎ウイルス「陽性」ってどんな意味?

HBs抗原が陽性(+) ⇒ B型肝炎ウイルスに感染しています。

HCV抗体が陽性(+) ⇒ C型肝炎ウイルスに感染している可能性があります。

## 肝炎ウイルスがあるとどうなるの?

B型・C型肝炎ウイルスは、主に血液や体液から感染します。そして感染者の一部は慢性肝炎に移行します。慢性肝炎は、肝臓の細胞が壊れ、働きが悪くなる病気です。進行して、肝硬変や肝がんになる場合もあります。肝臓の病気は、症状が現れにくく、気づかないうちに進行します。

**肝がんの原因の約6割はB型・C型肝炎ウイルスです。**

## 赤ちゃんへの感染を防止するために

お母さんの体の中に肝炎ウイルスがあると、妊娠中や出産のときに赤ちゃんに感染することがあります。

特に感染率の高い**B型肝炎ウイルスの感染を防ぐために**、出産後、赤ちゃんにはワクチンやグロブリンを接種します。また産後、お母さんの乳頭に傷があったり出血しているときは、赤ちゃんに母乳をあげるのを避けましょう。

※C型肝炎ウイルスの赤ちゃんへの感染率は非常に低いと言われています。出生後の経過観察などは消化器や肝臓の専門医と相談しましょう。

## B型肝炎の母子感染予防策(誕生から半年間のスケジュール)

1回のHBV免疫グロブリン(▲)と、3回のHBワクチン(↑)を接種します。



参考「B型肝炎母子感染予防方法の変更について」  
(平成26年3月17日付け健康発0317第3号及び産児母発0317第3号)

コバトン

※妊婦健診でHBs抗原陰性(ー)だった場合、赤ちゃんは、生後2か月以降にHBワクチンの定期接種(3回)を行います。

下の表に、お母さんと赤ちゃんが受けた検査や感染予防の対処について医療機関で記入してもらいましょう

埼玉県マスコット  
さいたまっち



	時間	内容	予定日	実施日	結果
母親	妊娠中	B型肝炎ウイルス検査(HBs抗原)	/	月 日	HBs(+)
		B型肝炎ウイルス検査(HBe抗原)	月 日頃	月 日	HBe(+・-)
子ども	出生直後 (12時間以内が望ましい)	HBV免疫グロブリン(HBIG)投与 HBワクチン接種【1回目】	月 日頃	月 日	/
	生後1ヶ月	HBワクチン接種【2回目】	月 日頃	月 日	/
	生後6ヶ月	HBワクチン接種【3回目】	月 日頃	月 日	/

## お母さんの健康管理

B型・C型肝炎ウイルスは、飲み薬や注射による治療で、ウイルスを体から排除したり、病気への進行や悪化を防ぐことができます。

妊娠中、出産後も継続的に診療を受けることが大切です。

※お父さんやほかの同居のご家族も、感染予防のために、HBワクチンの接種をお勧めします。

※妊娠中の抗ウイルス薬の服薬については、医師と相談しましょう。

まずは詳しい検査や治療の相談をするために、早めに肝疾患の診療を受けましょう!

肝疾患の診療を受けられる医療機関は、妊婦健診を受けた医師などから紹介してもらいましょう。下記から調べることもできます。

## 肝疾患の専門の診療を受けられる医療機関を調べましょう

○下記に記載されている医療機関で肝疾患の診療が受けられます。

- ◆肝臓専門医がいる医療機関(日本肝臓学会HP)  
[https://www.jsh.or.jp/medical/specialists/specialists\\_list.html](https://www.jsh.or.jp/medical/specialists/specialists_list.html)
- ◆埼玉県の肝炎の専門研修会を受講した医師がいる医療機関(埼玉県HP)  
<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0705/kanentaisaku/kanenkensyujyukousya.html>(埼玉県肝炎医療研修会受講者一覧)